

令和3年度 鳥羽小学校スクールプラン

【学校教育目標】

自ら学び 共に たくましく生きる子

【若狭町教育に関する大綱基本理念】

自ら学び考え主体的に行動することで「未来を拓く力」を培う、自立と共生の心とふるさとの誇りと愛着心を持ち、グローバルに活躍できる人材を育成する。

【児童生徒の実態】

- 素直で明るくほがらか
- 落ち着いて学習に取り組む
- 集団行動がきちんとできる
- 【保護者・地域の願い】
- ・自分で考え、行動できる子に。
- ・人とかがわり合って生きていける人。
- ・将来、この地域を支える人に。

【目指す学校像】

笑顔があふれる学びの場
通わせたいくなる学びの場
ちょっと寄りたくなる憩いの場

【目指す児童像】

自ら意欲をもって学ぶ子
自分や友達を大切にする子
健康でチャレンジする子
ふるさとや自然、社会とつながる子

【教職員のスタンス】

児童の自己有用感を高め、自分の成長を実感できる、「引き出す教育」「楽しむ教育」を進める
～認める・ほめる・励ます・伸ばす～

【重点目標】

【確かな学力】

自ら、対話的に学習をすすめる子の育成

【具体的取組】

- 各授業において、自分の考えをしっかりと持ち、伝えやすい環境を整える。ICTの活用を進める。
- 各授業において、学び合い、深め合うことに児童が喜びを感じる授業づくりを行う。
- 読書意欲を喚起する取り組みを行い、読書習慣を身につけさせる。マンガ型本からの脱却を図る。(読み聞かせ、ブックトーク、ブログ、お便りを通して)

【数値目標】

- 自分の意見を持ち、友達に伝えることができる児童 90%以上
- 友達と考えや意見を交換して、知らなかったことを知れたり、新しい考え方が分かったりすることが楽しい・うれしいと感じる児童 80%以上
- 積極的に読書に取り組んでいる(学校・家庭)と答える児童 80%以上

【豊かな心】

自分も友達も大切にする子の育成

- 人権教育を推進し、互いに認め合い、自分も友達も大切にする学級づくりを進める。
- 縦割り活動や自己有用感を育てる活動を通して、相手を思いやる態度を育てる。
- 地域資源(ひと・もの・こと)に愛着をもって体験活動を推進する。

- 学校に行くのが楽しいと答える児童 90%以上
- 自分にはよいところがあると思うと答える児童 90%以上
- ふるさと「鳥羽」に愛着があると答える児童 90%以上

【健やかな体】

健康な体づくりや様々なことにチャレンジする子の育成

- 楽しんで体を動かす時間や課題克服型の活動を継続的に学校生活の中に確保する。
- 早寝、早起き、朝ご飯の大切さについて考えさせる機会をもち、基本的な生活習慣の定着に努める。
- 鳥羽スマートルールを守ることへの意識を高める。

- 運動や体を動かすことに自分なりにチャレンジしたと答える児童 95%以上
- 早寝、早起きができ、朝ご飯をきちんと食べていると答える児童 90%以上
- 鳥羽スマートルールを守ろうと努力したと答える児童 90%以上

【家庭・地域との連携】

信頼される学校づくり

- 学校参観日などの機会の設定。
- 積極的な情報発信を行う。
- 地域の関係団体と連携し地域資源を活用した体験活動を展開する。
- 保小、小小、小中連携を行う。
- 関係機関との協力連携を推進する。

- 学校は児童の活動の様子がよくわかるように情報を発信していたと答える保護者 90%以上
- 学校は訪れやすく、意見や要望に適切に対応していたと答える保護者 85%以上

※業務改善のための取組 ・始業時に今日の退勤時刻を設定して、一日の行動計画をたてる。